

# 地熱観光ラボ縁間

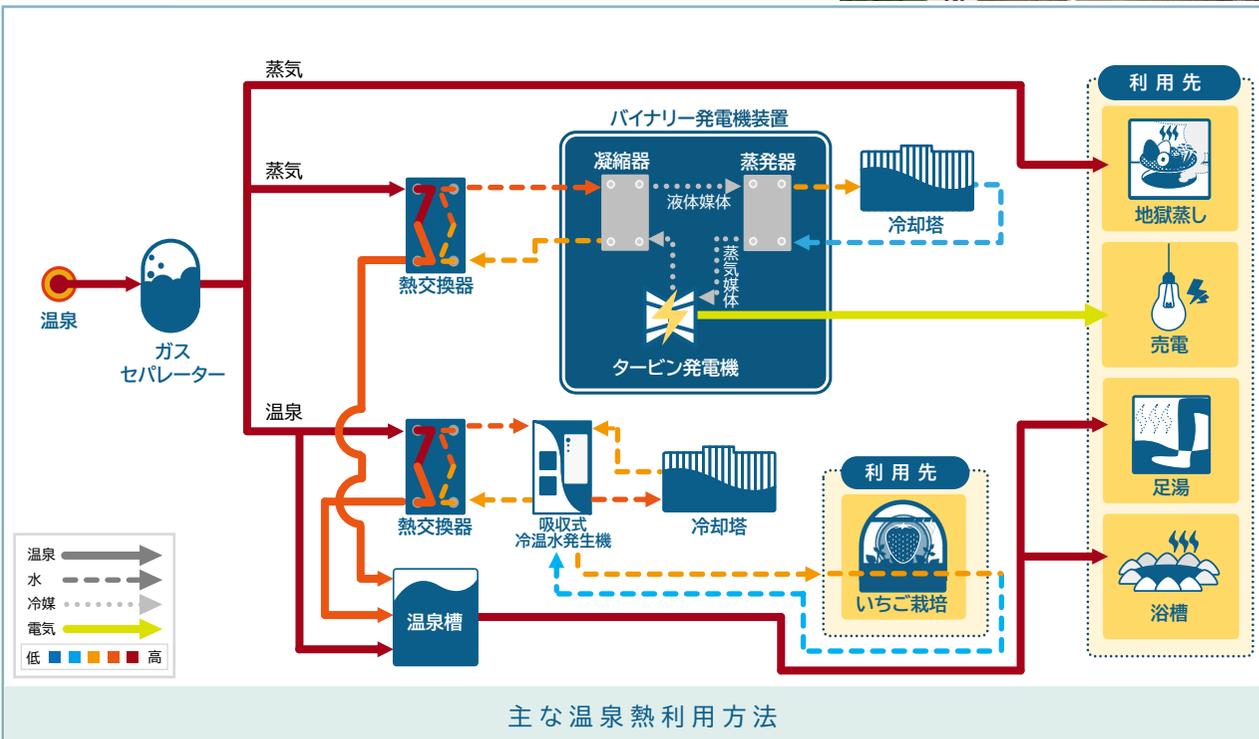


## 概要

温泉熱により吸収式冷温水発生機を駆動し、いちご栽培用のビニールハウスにおけるヒートパイプの熱源と、同一敷地内の観光施設、選果施設の冷暖房に利用している。また、敷地内において、蒸気を利用した地獄蒸しを提供している。日帰り温浴施設に併設し、飲食を行うエリアでは、足湯の提供も行っている。さらにバイナリー発電システムによる売電も行っている。

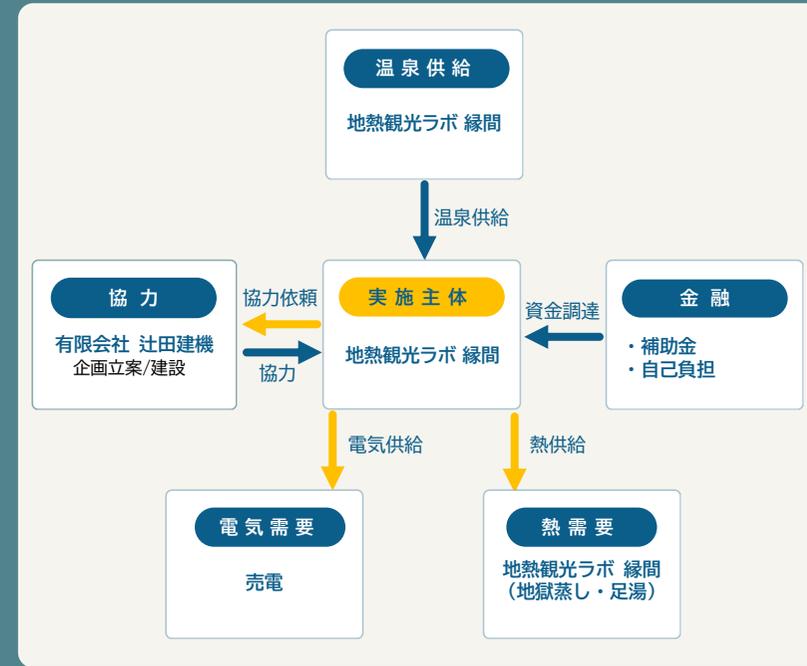


泉質	塩化物泉
熱利用温度	-
利用温泉	新規温泉
総事業費	1億8,000万円（一部補助金あり）



※ 本事例は「平成29年度・30年度温泉熱等の有効活用等普及促進調査等委託業務」にて調査・整理した事例であり、掲載情報は調査当時のものであることから、詳細な状況は変更されている可能性があります。  
 ※ ランニングコストが不明のため、CO<sub>2</sub>排出量削減効果、ランニングコスト削減効果は算出しておりません。

## 実施体制



## 事業検討の流れ

